

▶ 総合型選抜のポイント

1 選抜方式の選択

学部・学科により出願資格や選抜方法が異なります。
4種類ある総合型選抜の中から複数出願して合格の可能性を高めることもできます。
AO入試と、課外活動優秀者入試または専門学科・総合学科出身者入試または女子特別入試の併願が可能です。

	AO入試 + 課外活動優秀者入試または専門学科・総合学科出身者入試または女子特別入試
	課外活動優秀者入試 + 専門学科・総合学科出身者入試
	課外活動優秀者入試 + 女子特別入試
	専門学科・総合学科出身者入試 + 女子特別入試

2 過去問の対策

本学ホームページで過去2か年分の入試問題を公開中です。
学部ごとに選抜方法が異なるので、しっかりと対策をしておきましょう。
※昨年度から実施内容を変更している学部・学科があります。

オープンキャンパスでは、一部学部のプログラムで、総合型選抜 AO入試の対策講座を実施します。
(オープンキャンパスの日程はP.62参照)

過去問題・合格者インタビューは▶
こちらから

3 特別奨学生チャレンジ制度 NEW

2026年度入試より、総合型選抜に合格し、入学手続を完了した方も特別奨学生チャレンジ制度が利用できるようになりました。(P.13参照)

総合型選抜 AO入試

入学検定料 P.10

▶ 募集学部・入試日程

学部	第1次選抜 併願			第2次選抜 専願		
	出願期間	試験日等	第2次選抜 出願可否通知日	出願期間	試験日等	合否発表日
法学部	9/1(月) 9/5(金) ※当日消印有効	書類審査	9/24(水)	9/24(水) 9/30(火) ※当日消印有効	10/11(土) 寝屋川キャンパス	11/1(土)
国際学部						
経済学部		9/14(日) 寝屋川キャンパス ※生命科学科は書類審査(事前課題含む)			10/11(土) 枚方キャンパス	
経営学部						
現代社会学部		書類審査			10/11(土) 枚方キャンパス	
理工学部						
看護学部						
農学部						
学部	出願期間	試験日等	合否発表日			
薬学部 専願	9/24(水)~9/30(火) ※当日消印有効	10/11(土) 枚方キャンパス	11/1(土)			

入学手続期間	一括手続	11/1(土)~11/14(金)	分割手続	[1次手続] 11/1(土)~11/14(金) [2次手続] 11/1(土)~2026年2/26(木)
--------	------	------------------	------	--

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

▶ 全学部共通の出願資格

※出願資格には、全学部共通の出願資格に加えて、各学部の出願資格があります。(P.38以降を参照してください。)

つぎの各項に該当する者

1.【薬学部以外】本学を第一志望とし、第2次選抜で合格すれば必ず入学する者

- ①第1次選抜における他大学との併願は可
 - ②第2次選抜出願において、他大学との併願は原則不可(ただし、本学「専門学科・総合学科出身者入試」「課外活動優秀者入試」「女子特別入試」は併願可)
- 【薬学部】本学を第一志望とし、合格すれば必ず入学する者

2.つぎの各項に該当する者

- ①高等学校、中等教育学校を2025年3月に卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を2025年3月に卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- ③在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した教育施設)、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2025年3月に修了した者および2026年3月修了見込みの者
- ④専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを2025年3月に修了した者および2026年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認めた者
- ⑤本学において、個別の入学資格審査により、①と同等であると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者で18歳に達する者

※④または⑤に該当する場合は、**2025年8月4日(月)**までに入試部に出願資格の有無を確認すること。

法学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、法学部で学ぶために必要な能力を備えた人材を選抜します。その能力とは、第一に「社会問題に対する鋭敏な関心や問題意識を持つことができる」、第二に「入学後に学ぶ法学や政治学関連の文献を正しく読み取り、自らの意見を論理的に思考・整理して文章化し、口頭で表現できる力があること」を示します。また、大学で学んだこと、経験したことなどを、将来社会で積極的に生かしたいという意欲や明確な将来像を有しているかを評価します。

▶ 出願資格

※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格に該当する者

本学の教育理念および法学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学法学部で学びたい強い意欲と情熱がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	小論文	当日与えられたテーマおよびキーワードに基づき作成する。(800字以内)〈60分〉 資料の持ち込みは不可。ただし、テーマによっては、当日資料を配付することもあります。
	プレゼンテーション(個人)	(特に打ち込んだものについて自己PR)〈10分以内〉 テーマは自由。特に①～⑤のような文化的活動を高く評価します。①芸術(美術・音楽・演劇・写真など)、②文芸や情報(小説や詩歌の創作・新聞・放送など)、③地域貢献・ボランティア活動、④特殊な芸技(囲碁・将棋・外国語会話・弁論など)、⑤科学的研究(歴史や現状についての調査・研究など)
	口頭試問(個人)	プレゼンテーションに係る質疑応答を含みます。(本学法学部入学者としての適性・能力等を評価)〈15分程度〉

国際学部

▶ 趣旨・目的

国際学部では、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、主体的に行動できる人材の養成を目指します。そのためには、世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化等の基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーの習得が重要です。本入試では、世界や日本に関する関心や興味、調査力、分析力、表現力、積極性などを多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格

※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および国際学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学国際学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.外国語および日本・外国文化に強い興味・関心がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション(個人)	あなた自身の身近な興味・関心事がどのように「世界」とつながっているか、あるいはそれをどのように「世界」とつなげたいかについて発表する。(発表に使用する言語は、英語、中国語、スペイン語、インドネシア語、マレー語、韓国語、日本語のいずれかひとつとします。)(10分程度)
	質疑応答	上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)

経済学部

▶ 趣旨・目的

経済学部では、経済社会に関する探究心と自分の考えを適切に表現するための論理的な思考力を持ち、人と議論を交わし、他人の意見を尊重し、価値観や文化の多様性を受け入れることができる人を求めています。本入試では、書類審査およびプレゼンテーションを通じて、思考力、表現力、積極性などについて、多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格

※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格に該当する者

本学の教育理念および経済学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経済学部で学びたい強い意欲と情熱がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション(個人)	1.つぎの①②について発表(10分) ①自己PR(課外活動、資格取得、ボランティア活動、習い事など、頑張ってきたことや得意なこと) ②あなたが興味を持っている経済問題について 2.上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)

経営学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、本学の教育理念、経営学部の3つのポリシーを理解し、かつ本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱を持つ人材を求めます。
また、経営学部が求める知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む姿勢・態度について、多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および経営学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.2以上の者 <注意> 参照

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション(個人)	課題についてのプレゼンテーション(10分程度) 「企業という組織をどのように運営を行うか」は、経営学が解明すべき重要な問題です。 あなたは企業以外でも学校内のクラス、生徒会の活動や地域での様々な活動などに参加したり、見聞きたりすることにより、組織運営に何らかの関わりは持ってきたでしょう。 そこであなたの過去の経験からつぎのような課題を考察してその内容を発表してください。 (1)うまく組織運営を行うために重要なことは何かを具体的に説明してください。 (2)組織運営の中で自分が果たした、または果たすべき役割とはどのようなものかを具体的に説明してください。 (3)その役割を担える人になるために、あなたはどのような大学生活を送るべきと考えるのかを述べてください。
	個人面接	上記プレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)

現代社会学部

▶ 趣旨・目的

現代社会学部は、様々な社会現象に関心を持ち、フィールドワークや学外での活動に積極的に参加する意欲があり、異なる考えや価値観を受け入れられる学生を求めます。
入学後は、能動的学修を通じて社会的諸課題の解決に取り組む人材を養成します。本入試では、書類審査および個人ワークとグループワークにより、様々な情報を組み合わせる自らの考えを表現する力や、提案力、対話力、協働力を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格に該当する者

本学の教育理念および現代社会学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学現代社会学部で学びたい強い意欲と情熱がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	個人ワーク	1.課題提示(10分) [テーマ] 現在および未来の社会が抱える具体的な課題を当日提示する。課題提示はPowerPoint、動画等を用いて行う。 2.アクションプランの作成(30分) 以下の項目について個人で考え、配付されたワークシートにまとめる。 ①課題に対して大学生が取り組めること ②具体的なアクションプラン ③期待される成果 3.プレゼンテーション・質疑応答(30分) 2.で作成したアクションプランをグループ内で発表し、受験生同士で質疑応答を行う。(1人あたり5分程度)
	グループワークと振り返り	1.グループでアクションプラン作成(30分) 各自が作成したアクションプランを持ち寄り、対話を通じてグループとしてのアクションプランを作成する。 2.振り返り(10分) ワークシートを用いて自身の振る舞いやワークへの取り組みを振り返る。

<注意>

学習成績の状況の取扱い

- (1)卒業見込みの者は、第1学年から最終学年1学期(または前期)までのものとする。
ただし、2学期制の学校で、最終学年前期までのものが未決定の場合は前期中間テストまでのもの、それが不可能な場合は第2学年までのものとする。
- (2)卒業した者は第1学年から最終学年修了時までのものとする。

理工学部

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および理工学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学理工学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が志望する学科の指定する成績基準以上である者(下表参照) <注意> 参照

学 科	成 績 基 準
生 命 科 学 科	「全体の学習成績の状況」が3.0以上または「物理基礎」「物理」「化学基礎」「化学」「生物基礎」「生物」のいずれかの科目の評定の平均が3.5以上である者
住環境デザイン学科	「全体の学習成績の状況」が3.0以上かつ「理科」「国語」「芸術(美術)」のいずれか1つ以上の教科の学習成績の状況が3.7以上の者
建築学科・都市環境工学科 機械工学科・電気電子情報工学科*	「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

*2026年4月 電気電子工学科より名称変更

生命科学科

▶ 趣旨・目的

生命の真理への興味と探求心のある人材、生命科学に関する高度な知識と技術を修得することで人の健康および自然環境との共生に貢献したい人材を求めます。
本入試では、生物や化学の基礎知識を身につけているか、読解力と表現力を有しているか、問いに対する思考・判断力や自主的・自発的に取り組む態度などを評価します。
また、医療や環境、化粧品や食品などの生命科学に関する分野で、協同して研究に従事できる積極性と意欲のある人材を望みます。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	事前課題	生命科学に関するテーマ(自分が興味があるものでよい)について、教科書やインターネットを使って調べたことをまとめたもの(A4サイズ、図表を含めて5枚以内)
第2次	プレゼンテーション(個人)	事前課題のプレゼンテーション(10分)
	口頭試問(個人)	プレゼンテーションに係る質疑応答を含む。(20分)

住環境デザイン学科

▶ 趣旨・目的

本学科を志望する動機や将来の進路について明確な展望を持ち、住環境に対する基礎知識とデザインの基礎力を身につける人材を求めます。
「書類審査」により専門技術者を目指すために必要な知識・理解を、「小論文」により本学科への入学意欲・関心と自分の考えを伝える表現能力を、また実技[描画]により知識・理解、思考・判断、技能・表現を評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	小論文	[テーマ]試験当日与えられた住環境デザインに関係する文章を読み、自身の知識・体験から見解を記述する。(600字以内)〈60分〉
	実技(個人)	描画(定規の使用を認めない)〈60分〉
第2次	口頭試問(個人)	第1次選抜を踏まえた基礎学力の確認を含む。〈20分程度〉

建築学科

▶ 趣旨・目的

建築設計や建築生産などにかかわる技術、そしてその基盤となる知識・知恵を学ぶ強い意欲と大きな希望を持ち、より良い社会の実現に向けて活躍したい人材を求めます。建築分野の専門技術者を目指していくために必要となる基礎的な知識・技能、建築・都市計画分野に関する課題解決を導くための思考力・判断力・表現力を評価します。また、専門分野に対する関心・意欲・態度や、主体性・多様性・協働性を総合的に評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	小論文	[テーマ]建築を学ぶにあたっての考えを論ずる。(600字以内。詳細は問題用紙に記載)〈60分〉
	実技(個人)	描画と内容解説(定規の使用を認めない)〈60分〉
第2次	口頭試問(個人)	第1次選抜を踏まえた基礎学力の確認を含む。〈20分程度〉

都市環境工学科

▶ 趣旨・目的

都市環境工学科では、複雑・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の両面から捉えた技術者教育を行い、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる人材の育成を目指します。

このため、都市建設や環境保全に関わる分野に関心を持ち、技術を通じて社会に貢献したいと考えて努力する意欲とそのための素養があるか否かについて評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	プレゼンテーション(個人)	[テーマ] 高校での「総合的な探究(学習)の時間」で取り組んだ課題について ・具体的な取り組みの内容とその成果、自分の役割を説明する(10分程度) ・上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)
第2次	口頭試問(個人)	第1次選抜を踏まえた基礎学力の確認を含む。(20分程度)

機械工学科

▶ 趣旨・目的

機械工学科では、人類・社会が直面する課題解決に寄与する機械の研究開発や、ものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決できる総合的な能力を身につけた実践的機械技術者の養成を目指します。このため、世の中の機械の設計や開発、ものづくりの分野に関心を持ち、知識と技能を駆使して人類と社会に貢献したいと考えて主体的に取り組める素養があるか否かについて評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	プレゼンテーション(個人)	[テーマ] 高校での「総合的な探究(学習)の時間」で取り組んだ課題について ・具体的な取り組みの内容とその成果、自分の役割を説明する(10分程度) ・上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)
第2次	口頭試問(個人)	第1次選抜を踏まえた基礎学力の確認を含む。(20分程度)

電気電子情報工学科*

*2026年4月 電気電子工学科より名称変更

▶ 趣旨・目的

社会を支える電気・情報・電子・通信工学の幅広い知識や技術について、電気工学・情報工学を中心に修得し、製品やシステム開発および設計施工などの現場において課題を発見して解決できる実践的な電気系・情報系技術者を養成します。このため、電気・情報・電子・通信工学に関わる分野に関心を持ち、電気機器等のものづくりや、プログラミングに主体的に取り組める素養があるか否かについて評価します。

▶ 選抜方法 講義型とエッジ・ファインダー型のいずれか一方を選択して出願する。

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	講義型	[テーマ] 電気や情報に関する講義を聴講(30分)して、講義の概要および、内容に関する意見をレポート(30分)としてまとめる。
	エッジ・ファインダー型	・これまでに完成したことのある(失敗作を含む。ただし未完成品は除く)電気電子情報関連工作やプログラムなどについて、PowerPointで5枚程度にまとめて説明する。(10分程度) ・上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答(10分程度)
第2次	口頭試問(個人)	第1次選抜を踏まえた基礎学力の確認を含む。(20分程度)

<注意>

学習成績の状況の取扱い

- (1)卒業見込みの者は、第1学年から最終学年1学期(または前期)までのものとする。
ただし、2学期制の学校で、最終学年前期までのものが未決定の場合は前期中間テストまでのもの、それが不可能な場合は第2学年までのものとする。
- (2)卒業した者は第1学年から最終学年修了時までのものとする。

薬学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、高等学校等で学ぶ知識に限らず、日常生活や社会活動などを通じて身につく人間力、実践力および統合力を重視して選抜します。特に薬学部では、将来薬の専門家として多職種と連携するため、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」が必要になります。そこで、思考力・判断力の能力審査に加え、化学実験ならびにグループ討議の実地審査を行います。与えられた課題に対し、解決に向けて取り組む力と姿勢を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および薬学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学薬学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上、かつ「化学基礎」「化学」を履修し、学習成績の状況がいずれも3.0以上の者 <注意> 参照

▶ 選抜方法

書類審査	調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
実技(個人)	試験当日の実験内容に関連する計算を行い、指示された基本的な化学実験を行う。
グループ討議	実験結果に基づくグループ討議(実験結果への理解度のほか、自分の意見を他者に的確に伝える力や他者の意見への傾聴力、討議に対する積極性などを評価)
口頭試問(個人)	基礎学力の確認を含む。(医療人を目指す者としての資質・能力などを評価)〈20分程度〉

〈3時間30分程度〉

看護学部

▶ 趣旨・目的

看護学部は能動的・協働的な学修ができる学生、即ち課題解決に向けた継続的な探求を行う能力と生命を尊重できる人間性を備え、地域社会と看護の発展に貢献したいという志を持つ学生を求めます。このような学生を選抜するために「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲・態度」「技能・表現」を問う入試を行います。選抜された学生にはアクティブラーニングを導入した講義・演習を提供し、卒業後において多職種と連携をとり、高い専門性と倫理観のもと自己研鑽を重ね活躍することを期待します。

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および看護学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学看護学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者 <注意> 参照

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	小論文	当日与えられた医療、看護に関するテーマに基づき作成する(600字以内)。(60分)
	協働作業	当日提示する課題について、グループで協働し作業する。(40分程度)
	グループ討議	医療、看護に関するテーマ(テーマに対して主体的に取り組み、他者と相互理解しようとする姿勢があるかなどを評価)〈40分程度〉

農学部

▶ 趣旨・目的

農学部では、地球規模の「食」と「農」の持続可能性は生活に直結する重要課題であると考えています。これらの課題に取り組む意欲と資質を持つ入学生を広く求めます。2015年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」を題材とした入試を行い、知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※全学部共通の出願資格(P.37参照)に加えて、つぎの出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および農学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学農学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者 <注意> 参照

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	小論文	当日与えられたテーマ(「食・農・環境」に関する内容)に関する資料に基づき作成する(600字以内)。(60分)
	口頭試問(個人またはグループ)	基礎学力の確認を含む。(10分)

総合型選抜 A O 入試